

本展は和紙製の障子プロジェクトマッピングのメディアアート展です。
 厚口の和紙を何枚も使用することで、映像光を裏側に透過しにくい性質を持っています。
 その性質を活用し、障子の表と裏に異なる映像を投影します。
 表にはさいたま市内120の地名や伝説をイラスト映像化し、障子の枠一つ一つに投影します。
 裏には、さいたま市の現在の写真イメージをコラージュ映像として投影します。
 つまり過去と今という相反するものが同一空間上に共存したメディアアート作品になります。
 これは普段私が創作活動の中で追い求めている「陰陽太極図的映像空間」とも合致します。
 これにより鑑賞者は、表現や土地の核の部分に触れることを通じて、
 自身の視野が拡張するような体験を得られるのではないのでしょうか。



展示風景イメージ



1995年大宮市出身。映像作家。学習院大学文学部史学科卒業。
 在学中は映画史を研究。その土地の持つ歴史や都市を題材にしなが
 ら相反するものが共存した「陰陽太極図的メディア空間」を探求しつつ、
 立体、映像、中間媒介物を組み合わせ、作品を制作。
 2023年文化庁メディアクリエイター育成支援事業 退出。

映像作家・坂根大悟



作者 Instagram



事前チケット購入

【ご案内】

入場料 300円 / 小学生以下無料

※メイン会場チケットは使用できません

再入場はできません

駐車場は9台のみ
 (なるべく公共交通機関をご利用ください)

最新の情報は作者SNSを参照ください

無料休憩スペースも併設しています

アクセス JR宇都宮線 土呂駅 徒歩10分
 〒331-0804 東武野田線 大宮公園駅 徒歩10分
 埼玉県さいたま市北区益敷町 267-1



展示会場：盆栽四季の家



地元民豆知識

- 主頁の豆知識に、隠れ・加藤さん多数
- 大宮公園から向かった方が途中の散歩道が気持ちいい
- 大宮駅から会場まで自転車通勤がおすすめ
- メイン会場への移動はシェアサイクルが使える (HELIX CYCLING)
- 飲食店、喫茶店、居酒屋、理髪店、ネットカフェも多数

※ 混雑状況により入場規制を実施させていただく場合がございます